

# 北海道森林管理局長 着任あいさつ

## 吉村 洋



10月1日付で北海道森林管理局長に就任した吉村と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。読者の皆様におかれては、日頃から北海道の国有林を温かく支えていただくとともに、『北の森林 国有林』をご愛読いただき厚く御礼を申し上げます。

森林管理局長を経験するのは中部森林管理局以来2度目で、直前までは、独立行政法人農林漁業信用基金の役員として、林業・木材産業を営む事業者の皆様が融資を受ける際の債務保証に携っていました。北海道での勤務は初めてですが、果てしない大空と大地が広がるこの地で、豊かで広大な国有林の管理経営に携わる機会に恵まれたことに感謝しているところです。

さて、我が国の森林資源は年々充実し、関係者のご努力に加え、カーボンニュートラル、グリーントランスフォーメーションなどの国際的な潮流の中で、森林の役割や林業・木材利用の重要性については年々理解が深まってきているのではないのでしょうか。各地で建設が進む木造の大規模・高層建築物はその一端の表れでしょう。

一方で、「これまでに経験したことのない大雨」と形容される豪雨の常態化、資源高・物価高と人

手不足の深刻化、人口減少に伴う様々な需要の減退など、克服すべき課題も山積しています。

こうした中、北海道の国有林については、奥地・高標高地に立地していることから、まずは豊かな生態系の保全、水源の涵養、災害の防止などの公益的機能の発揮のための適切な管理と効率的な施業に努めてまいります。

また、北海道庁や市町村の皆様とも連携しながら、木材を安定的に供給しつつ、大口の供給者として、木材の需要拡大に向けた働きかけにも力を入れたいと考えています。

さらに、約300万ヘクタールの国有林は北海道の面積の4割弱を占めており、地域とのご縁が深いことから、その適切な利活用によって地域経済の振興に貢献したいと考えています。

加えて、こうした取り組みの過程で得られたノウハウや技術を積極的に発信することにより、民有林林業や木材産業の発展を下支えするほか、民有林における災害発生時や森林の現況把握の必要が生じた際には、ヘリコプターやドローンによる上空からの調査をはじめ、地域のニーズに応じた支援にも努めてまいります。

今後とも、国民の皆様からお預かりしている国有林の価値を高め、その存在によって地域に貢献できるよう努力してまいりますので、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### ● 略 歴 ●

出身地 大阪府

昭和 63年 4月	農林水産省入省（京都府立大学卒業）
平成 21年 5月	内閣官房行政改革推進室企画官
平成 22年 9月	林野庁林政部経営課特用林産対策室長
平成 25年 4月	林野庁森林整備部治山課山地災害対策室長
平成 26年 7月	林野庁森林整備部整備課造林間伐対策室長
平成 28年 8月	林野庁国有林野部業務課長
平成 29年 7月	林野庁国有林野部経営企画課長
令和 元年 10月	中部森林管理局長
令和 3年 10月	独立行政法人農林漁業信用基金理事
令和 5年 10月	北海道森林管理局長



国民の森林・国有林